

Y06b 非欧米言語科学辞書における天文学用語の記載状況の調査例

玉澤春史（京都市立芸術大学/京都大学）

国際天文学連合（IAU）の Strategic Plan 2020-2030 では目標の一つに学校教育レベルで指導および教育が掲げられており、例として、学校のシラバスの修正提案、教師研修の実施、簡単に入手でき、各国の言語に翻訳できる適切な教材の特定などをあげている。進展の早い分野である天文学では専門用語は英語等をそのまま使われる場合も多く、また高等教育では英語など特定の言語でないと専門知識が導入できない場合も多い。一方で初等教育においては教授言語と実際の現場で使用されている言語を併用されている場合も多く、それぞれの言語で天文学に関する初歩的な用語がどのようになっているかを把握し、理科などの教科書の記載と比較していく必要がある。

本発表では一例としてタンザニアで発行された「KAMUSI SANIFU YA BIOLOJIA, FIZIKIA NA KEMIA」（生物・物理・化学標準辞典：英スワヒリ辞典）における初等教育で用いられる天文学用語の集録状況を紹介する。「インターネット天文学辞典」において小学生向けとされる用語が収録されているかどうかをチェックすると、例えば各惑星に関する記載はないなど、基礎的な事項であっても科学の各分野と比較して記載が充実していない可能性が高い。